



建交労

2019年夏季闘争推進ニュース

「北信越地協フェスタ」に32人が参加 建交労の運動・魅力を確認に楽しく交流

7月6日～7日に北信越地協のフェスタが初めて開催されました。会場は新潟県妙高市の神の宮温泉「かわら亭」です。

石川・富山・新潟・長野の4県から32名の仲間が集いました。フェスタの開催は昨年の地協総会のおり、一人ひとりの組合員が交流できる、元気が出て、仲間意識のもてる場を持つのではないかとという提案がされ、とにかく第1回をやってみようと開催にこぎ着けることができました



参加者全員が笑顔で記念撮影（7月7日）



夕食交流会は全員が歌や踊りで交流しました

した。初日の冒頭に30分間を地協総会にあて、13時40分からいよいよフェスタの開会です。DVD「この組合がわたらの宝」を視聴し、石田中央副執行委員長が基調報告を行いました。

その後、3つのグループに分かれての意見交換が二日間にわたって行われました。建交労の各部会がいかにより多彩で、労働者の権利や要求を大事に拾い上げて闘いをくりひろげているのかが大いに交流

されました。夕食交流会では、歌声とビンゴゲームで、ビックリするような盛り上がり。仲間の団結は益々深まりました。フェスタの成功を力にさらに大きく豊かな建交労の建設を目指していこうという意思統一がされました。

7月21日(日)は参議院選挙の投票日 全組合員が選挙権を行使しましょう

建交労は、参議院選挙で安倍政権がおこなう「9条改憲、消費税10%増税、原発再稼働推進、社会保障制度切り捨て」など暴走政治をストップし、労働者や国民の生活や権利を守る政治の転換に向けて奮闘する野党共闘（立民、共産、社民、国民民主）の躍進・議席増をめざしています。また各組織では、全組合員が選挙権を行使するよう棄権防止活動（期日前投票の活用を含め）のとりくみ呼びかけます。